明治廿八年一月三十日印刷
明治廿八年二月一日發行

婦人衛生雜誌

第六拾參號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第六拾參號
目次

講演

◉新年の祝詞　宮本仲君

◉日本婦人運動の話しに就て　ドクトル 入澤達吉君

衛生叢談

◉露國軍醫の歎賞

◉結核含有の牛乳病毒の試驗

◉防寒實驗談

廣告數件

大日本婦人衛生雜誌
第六拾貳號
目次

講演

◉浴湯の話　宮本仲君

◉首下り病取調報告

衛生叢談

◉二十八年を迎ふ

◉藁灰繃帶の實驗

◉人類の年齡と事業の關係

◉醫者の氣轉

◉惡症の感冒流行

◉大日本婦人衛生會々況

◉廣告數件

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第六拾參號（明治二十八年二月一日發行）

講演

●新年の祝詞（明治廿八年一月十二日婦人衛生會初會に於て）

宮本仲君

新年になりまして御芽出度う御座います。私は昨年中本會の御馳走になり又た皆樣の御懇情を受けながら、此方から盡すべき義務は充分に盡し兼ねまして、甚だ相濟みませんことで御座いましたから、今日は其中譯旁々御年頭の祝詞を申上げたいと存じて伺ひましたので御座います。併ながら別段に御聽きになッて利益する樣な御話を致すのではない、唯たお芽出たうト申す代りに、誠に價値の無い一向詰らぬ事を申上げるので有りますから、ドウか皆樣も寄席へでも被爲入ッて福笑ひでも遊はす思召で御聽きになッて、唯一つ二つ笑ッて戴けは、ソレで宜しいので御座います。

扨私は新年の祝詞としてドンな事を述べるかと云ふに、先刻から加藤君并に伊澤君が相變らず尤も有益な御話を致されまして、唯今も又福引の御催しか有ッて大層面白い餘興で御座りました其の後で御座いますから、私は詰らぬ祝詞を一つ申上げ樣と思ひますか、反ッて御退屈で有りましよう去ながら加藤君の言はるゝには、今回は新年の事であるから、皆樣の御慰みに何か一つ面白い御話をして笑ひの中に散會にしたいと云ふ事でございます、夫れ故ドウか皆樣が（はゝと）御笑ひになッた御顏を拜見したいのですが、夫れには唯御目出

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

度う御座いと申しただけでは餘り可笑くも有ませぬから、試みに本會を寶船に寄せて祝して見たいと思ひます。併し寶船に寄せると申しても、判じ樣で善くも惡くも聞へます。私の聽きましたのには、昔舊幕の頃將軍家には御夢判じと云ふ役義が有りまして常に此役人を扶持して置かれたと云ふことで有るが、是れはドウ云ふ事をするので有るかと云ふに將軍家がドンなトンチンカンの夢を御覽になッても、ドウか斯うか好い方に判じて當年の御初夢は誠に吉い御夢で御座ると云ふて好く判じさへすれば、ソレで役目が濟む……ト斯う云ふ譯ださうで御座いますが夢なども判じ方で吉い夢も凶くなり、凶い夢が吉くもなる事が有ります。昔徳川家康公が是と云ふ字を手掌の中に握つたと夢みた時天海僧正とやら誰やらが是と云ふ字を分析して日の下の人を掌握する豫兆即ち天下を取るのだと大に祝して喜んだと云ふ又た或る商人が初夢に一富士二鷹三茄子と云ふ大へんに吉い夢を見たから、大きに喜んで、今年もドウか目出度年を越すことが出來るか知らむと云ッて、夢の吉凶を判じて貰ッた處が「富士の山程借金積んでなす事ならぬソレ見たかと」云ふ甚たいたつらなる判じ方で、大へんに凶い夢に判じられて仕舞ッたと云ふ道戯話が有るソレ故一富士二鷹三茄子と吉い夢に數へられて居るものでも、判じ樣に因つては隨分凶い夢になッて仕舞う。ソレと同じで私が幾ら寶船に寄せて祝さうと思ッても皆樣が惡く御判じになると大黑の樣に足が短く、福祿人の樣に頭が長く、毘沙門の樣な荒々敷い根情になッては困る。唯一人辨財天のみ其他は皆な變りものである

に、一々サウ云ふ事に寄せて祝されては迷惑をすると云ふ御叱言が出るかも知れぬ。處がなか〳〵サウ云ふやふな譯ではない、餘程甘く判じて祝して見たいと思ひます御聽を願ひたう御座います、先づ衛生と云ふ事の非常に大切なる譯は、皆樣が始終御聽きになッて居らるゝのであるから、今更申上ぐる迄もないが、此衣食住の事は一日も忽せにすべからざる大切なることで御座います。處が御芝居とか又は蠣売町の水天宮や、虎の門の金比羅に參れば甚だ面白いとか御利益が多いとか云ふて御參りがあッても、富士見倶樂部の衛生會に出掛けるのは寒いから巨燵に煖ッて居る方が宜からうと、引込思案を遊ばして唯ゴロゝゝ御家に縮んで居る御方が無いとも云へない。ソレも衛生會の御利益は多くても古昔よりワイ〳〵唱ふる人か少いのなら仕方が無いが、婦人衛生會と云ふものは、寳船の樣な非常に芽出度い著しい御利益が有るに相違ない、寧ろ寳船の乘り合よりは、大きな得が有るので御座います、ソレハドンな利益かと云ふに、唯今申した衣食住からして健康になると云ふ事に付てゞ御座います、此衣食住の中に付て御召の事を初めに申します。

皆樣が婦人衛生會に御出席になりまするに立派な御召を召して入らしやる樣子だが是れは少しも益のないとてす可成は御平服にて清潔を旨としたる御衣服を最良と思召す樣に致したいと思ふ、何故なれば餘りに美麗を競ふ樣では普通には行なはれぬ衛生の御話は、上等社會中等社會の御方に向ッては、既に書物やお話しで御承知の事で有るから左程熟く申上ぐる必要は無い、寧ろ中等以下の者

に向ッて廣く衛生を普及したいので御座いますから、御出入の人や、御召遣の御女中、を一人でも餘計御連れになッて、其者等に衛生と云ふことは大切なるもので有ると云ふ事を腦の中に入れて置きたいと考へる。ソレには餘り皆様が立派な御召を召して被爲入ると。ソレが爲め或る者共は衣服が良くないから聞かわるいなどゝ云ふて遂には出席者が少なくなると云ふやうなことが萬一無いとも申されぬ。先年加藤先生が段々御話なすッた通り、皆様が御相談の上婦人衛生會へは御立派な着物を召して入らしやらないで、唯垢の附かない清潔と云ふことを、一番の自慢として御出掛けになッたら宜しからう、左すれば衛生が下々に行渡り、自然婦人衛生會も益々盛になるで有らうといろ〳〵御深切に御話なすッた事が有りましたが私もソレが何より好い事で有らうと思ひます。

一体衣服と云ふものゝ第一の趣意は、なにかと云ふに野蠻人のやうに赤體で居る譯には往かないから衣服を纒いますが、衣服の用は一に醜体を掩ひ二に寒暑の度を適當ならしむるにあるので、寒い時には温かに重ね、暑い折には成るべく薄い白い衣を着けて暑氣を避けるので有ります。斯くの如く衣服の要と云ふものは、醜体を掩いて寒暑の度を適當ならしむるが衣服の本趣意故、後の風姿を好くするとか、美を粧ふとか云ふのは、衣服の大要旨に隨從したる副旨で決して必要缺くべからざる眞實の趣意では無いから、唯専ら清潔を旨とし、寒暑の度を適當にするといふ點だけを御心懸けになれば既に宜しい。況して婦人衛生會に御出掛けになるには、衣服に垢の附かないやうに又た寒暑

新年の祝詞

に應して適當に御襖せき成される様にし唯上部ばかりでなく肌に附く處の襦袢の清潔なることを最も必要と致しますから、其地あいも御立派なのは大層に結構なる事では有りますが、絹布で無くても、木綿或は毛織物、若くは麻布でも、なんでも宜しいから暑くなく、寒くなく適當の温度をからだに與えるものでさいあれは十分に其要用を盡したもので御座ゐますなにも縮緬の着物を着るの、純子や繻珍の帶でなければならぬのと云ふ譯は無い、自身の心地さへ好ければ、ソレで衣服の本用は充分に足りて有ります。此要旨は御出會の時のみでなく御宅に居らッしやる時でも不斷御心掛にさい相成れは必ず衛生に逆ふことはありませぬ次に食は、西洋料理でも或は日本料理でも御好み次第で宜しい。必ず西洋料理でなければならぬの、若くは日本料理の方が好いのと云ふやうなことは無い各自生活の楷級に從ッて其費用の許す度に應して成るへく營養の充分なるものを適當に擇ふを尤も肝要なることゝ思召せ、而して是等の事は、下婢などに任せて置く譯には往かないから、是れは滋養分か多い物であるとか、又は斯う云ふ滋養少なの物を量ばかり多く食べても効能が無かと、彼品は消化が悪いとか、是れは消化し易いとか、是れは大人には宜しいものだが幼兒に食べさせては害になるとか云ふ事をば皆な御奥様方が御注意をなさらなければならぬ。譬へば小兒に滋養の少ない野菜類を澤山食べさせ又は定度なく矢鱈に間食をさせたり、或は皆様方御自身の如きでも私は滋養物は嫌ひだ、野菜物が好きだ、淡泊したものが宜しいなどゝか云ふやうな事であると、お身

体の營養が乏しくお痩せになり、随ッて御顔色が白くなり、益ます美人にお成りのやうには見えますが、其實は漸々に蒼くなッて來る。昔は婦人は細腰を貴んだとか申しますが、求めざるに腰が細ッて、次第に羸弱を増し或はゴホン〳〵と咳嗽が出る樣になり、遂に北里君の撿査を受けなければならぬとか、やれ山龍堂に往ければならぬとか、杏雲堂に入院しなければならむと云ふやうになるから、平生より成るべく滋養分を餘計に取るやうにしなければなりませぬ。料理の方法は朝山君が嘗て御話を致した事が有るから、委しくは申しませぬが、世俗では衛生を守るには金が無ければ出來ない、滋養物と云へば牛肉牛乳鳥肉鶏卵の様なものであるから、サウ云ふものを始終食べると云ふ事は上等或は中等の社會までは出來るがソレから以下は衛生を守る事も、滋養物を食する事も出來ない云々など、考へる人が多い樣ですが併し左樣なる論は無い既に朝山君も言ッた通り日本は海を以て四方を圍んで居る國故魚類も澤山に在り直段も甚だ廉でありますから、貧乏人でも容易手に入れ平生喰る事が出來る、平らに申せば安價で滋養の多い物か上下一般に好い譯で費用少なに衛生法を考ひなければ普及と永續とは六ケ敷です、又豆腐の如きも元は基利支丹の方から傳來したものであるさうですが、今日では本家本元には無くなつて、反つて日本の方にアヽ云ふ好いものが殘ッて居るのです、豆腐、蠣の如きも滋養分が充分にあります、其他動物性の食物で、蛋白質に富み脂肪も適當に含んだものも幾らも有りますから、成るたけ良いものを擇んで召食る樣にするが宜しい。

滋養物と云つても敢て牛肉鶏卵に限ッた譯では有りませぬから、御婦人方が是等の點に御注意なすッて假令手は下さんでも、サウ云ふものは決して食べてはならむ、是れ〲の物を食べなければならぬと云ふ事を、傍から御心添へなさらなければありませぬ、又虎列刺の流行する時分には、陳いものも、生の物を食べてはならぬ、食物は清潔に新鮮にしても器物が不潔では成りませぬ此等の事は總べて御婦人方の注意せらるべき點で、男子の關かり知るべき事では有りませぬ食物の要は滋養易化、鮮新、清潔、分量、等を專らと致します、宜しく御勘考を願ひます。

又た食物中調味料に就ては味噌、醬油、食塩等の類がありますが何れにても料理の方に合當したるものが一番宜しいです味噌を誤つて腐敗した物だと思ふ人は大間違てす併し東京の所謂舂き込に造りたるものよりは仙臺味噌なと丶申す田舍風の物が宜しう御座ゐます

次に住で有りますが、是れとても一家を理むるものは御婦人方で有りますから、若しも下婢が四角な座敷を圓く掃いて置いて、能く〲見ると四隅に塵が溜ッて居る樣な事が有ると不潔で往けないから、四角な座敷は四角に掃き、菱形の座敷は菱形……菱形の座敷もありますまいが、能く片隅に塵の溜らないやうにしなければならぬ。塵埃の中には非常に害毒が混交して居ります又下婢が丈の低い人で、下の方の疊ばかりを掃いて上の方には氣が附かず、障子の棧には塵が積り、天井には蜘蛛が巣を架けて、ソコに煤が引懸ッてお曼陀羅見た樣に下ッて居ッては隨分不潔で有りますから、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

成るべくサウ云ふ事の無い様に高い處は踏臺でもして、煤や塵を拂はなければなりませぬ。ソレから臺所の方も隨分不潔に成り易い處で有りまするから、臺所の掃除なども勿論御自身に手は御下しなさらないでも、折々見廻ッて清潔にする様に氣を附けなければならむ。ソレから外圍の除掃なども車夫等に任せて置いては、汚穢物を庭の片隅の方などに積んで置くかも知れむから、若し汚ない物を溜めて置くと、不潔物が地中に染み込んで、遂に飲水にまでも流れ込み人間に害を與ふる處の非常に恐るべき毒素を發生せしめますから御住ひにありまする家屋、幷に庭園を悉く清潔にすると云ふ事も最も大切なることで、矢張り是れは男子の顧慮よりも寧ろ婦人衛生會の務むべきことで是非奥様方に願はなければならむので有ります。

家屋も亦た寒暑風雨等を防ぎ外襲物に對して身体を健全に保護するを最大要旨とするものて粧飾物等は精神を慰むるの副旨に適するのみてす。併しなから幾ら清潔にしても障子を閉め籠めて　火鉢を置き、炬燵を抱ひ込んで煙草パク〳〵で居ッては、炭酸中毒を起す恐れが有ります。常に空氣の不潔なのを呼吸し又た炭酸中毒などを起すと、顔色も惡く血も少なくなるから時々室内空氣の入換へをしなければならぬ。而して部室を適當の温度に煖め若し障子に隙でも有ッて風の吹き込むものは宜くないから、サウ云ふ處は早く繕う様にしなければなりませぬ。是等は極く細かい事では有りますが、大切なる務めで有らうと思ひます●家屋の搆造法、位置、方向、其他の事も尤も必要てすか茲には畧して他日に申しましよう

前に申した衣食住の外に最一ッ大切なる事は運動の事てす此れは宜しくお勤めにならなくては悪い運動、行浴、坐臥等總て常住に必要なるとは澤山ありますか是も亦た玆に畧します。

此衣食住の三ッに就て、最も御務めなすッたならば、其御利益と云ふものは甚た鴻大なるもので水天宮の御利益も金刀比羅サンも之には遠く及ひませぬ、恰も先程申しました通り寶船の如き結果か當會の賜で非常な利益で御座います、實に婦人衛生會の御利益の結果は今日に始つたのではない舊幕の時分から寶船を用ゐたから則ち婦人衛生會が後年に興るであらうと豫知して徳川將軍の時分から大日本婦人衛生會を年々祝して居ッたに相違ない、ドウして其寶船の乘合か婦人衛生會の結果と一樣の觀で有らうかと云ふに、先づ第一に身體を清潔にして而して垢を溜めない樣に、鶯の糞、石鹸、糠袋、厚朴炭、垢摺等で能く御顔を御洗ひになッて御身体か清潔に御立派になり其上に惠比壽樣か海濱を歩行した樣に能く御運動をなさつたら鯛は御釣りにならんでも、益々からだが健康になッて辨天樣のやうに立派に御成りなさると云ふ譯で、惠比壽と辨天を顯はし續て身体か健かになれは自ら御心地も漸々爽快なッて來るもので御座いますから、御家で角を生してプウ〳〵怒つて被爲入る奥樣方も無く莞爾と笑ッて御心持迄がさつぱりとなり、御腹が大へんにひろ〳〵として、布袋樣の如くソレから身神共に勝れたお方には能いお兒樣かお出來になる就中御男子樣は毘沙門天の如く強く征淸の役なとには大功を顯はし名を千歳に遺そうと云ふ勇氣凜々とした方々が御成育にな

ります。サウ云ふ事になつて來ると、國が漸次に富み榮へて、大黒樣のやうに、始終金嚢は充滿し疊の代りに俵の上に乘ッて一生を送る事が出來るサウすると、健康の身體には智識か宿る諺の通り其發達も早くなる道理で御座いますから他日大博士ともなるべき腦力の大きい福祿神の樣な御子樣が御育ちになります。ソレからはドウかと云ふに寶船に乘ッた樣に奇麗な御住居中にて壽老人の樣に芽出度長壽をなさる事が出來る此樣に可祝、可慶、衛生會の大利益を寶船と云ふ一枚圖に畫きてソーして一年中寢ても忘れず夢にだも思ひだソーと云ふ熱心より此寶船初夢の式が起原した譯かと私は存します皆樣も左樣御承知願ひ度い。當年の御夢初めに貴婦人方は必ず吉い夢を御覽になッたに相違なからうと思ッて、チョッと寶船で御祝ひを致しましたので御座いますが。尙は當年も相替らず衛生會の事に御盡力なすッて、益々會の盛に赴かん事を希ひます。私も蔭ながら寶船の船子になッて、或は掉し或は綱を持ッて、ドウか斯うか引張る位ゐの事は致しますから、每々失敬は申しますが、御見逃し下さいまして、相變らず御懇意の程を願ひます。何卒皆樣も一致して力を協せられ愈々本會の盛ならむ事を冀望致します

日本婦人の運動の缺乏、婦人體操所を設くること、及婦人の死亡數に就て歐羅巴と日本の比例

醫學士　入澤達吉君演說

大澤とよ子速記

今日私は此會で、何か演說を致す事に御約束を

致しましたが、何分にも丁度婦人衛生會で演説するやうな好き材料を見出し得ませぬので、實は如何なる御話を仕樣かと思ふて種々考へましたが、間際に至るまで、何に就て御話をして宜いやら、相應しき考も出でませぬので、先頃御書面に接しまするまでも演題は未定として置きましたが、今日御話を致しまする場合に至りましても、未だ演題は何と申して宜しいか解りませぬので有ります。私の今日申上ぐる御話は、唯是れまで自身に實驗しました事、幷に自分の身体に依て必要を感じました事を述べて、皆樣の御聽きを願はうと思ふので有ります。ソレは外の事では有りませぬが、身体の運動に就て申上げたいので御座います。私は幼少の時から身体が虚弱でありまして、始終小さい折にも病氣ばかり致して居りました。ソレから十二三歳の時東京に出て參りましたが、矢張り病氣勝で斷えず藥用を致して居りました位ゐで御座います。然るに十六七歳の頃からしてからだが大層丈夫になりまして、ソレからはからだ中に一つも病氣が無いと云ふ程では有りませぬが、其後は褥に就く樣な強い病氣に罹りました事は有りませぬので。幸に今日では幼少の時よりは少しは强壯らしくなッて居ります。其間始終私は、ドウか身分の身体を強壯にする方法は無いかと思ッて種々考へて居りました、其時分に丁度大學に於きましても漸く運動の事が盛になります際で有りましたが、私はドウ云ふもので有りますか、所謂運動會、大學の端艇、レースなどに就ては、是れを遣ッて見たいと云ふ自分の好みが一つも御座いませぬ。端艇などの始めて出來ました時から、是れ

に関係はッては居りましたが、自分で舟を漕いだことは僅か數回に過ぎませぬ。私の性質が他の人と一緒にあッて陸上なり、舟を漕くなりして運動をすると云ふ事を好みませぬ。故に人と共に体操を遣ッた事はないが、大學に這入りませぬ時分、未だ豫科に居ります時に、遣らなければならぬので、其時始めて器械体操徒手体操を致しました。ソレも僅かに一年位ゐで、餘暇の無い爲めに廢めて仕舞ひましたけれども、其時に大へんに快く感じましたので、器械体操徒手体操は、大へん自分のからだに適當のものと思ひましたが、其後五六年間は、運動の身体に必要ある事を感じまして自分一個では斷えず注意をして居りましたが、規則立ッた運動は致しませんで御座いました。其後西洋に參りましてから、始終此の感じは離れませぬ。私は獨逸に參ッたので有りますが、獨逸人は英吉利人などより見ますると、餘り体育の事に注意しませぬが併し體格は、日本人などよりは遙かに勝ッて居ります。丁度今より二年半ばかり前、私が彼方に居ります時分、獨逸のストラスブルヒと云ふ處に体操の會が二つ有りまして、一つは大學の學生が設立して居るので、即ち大學の体操會で有ります。モウ一つの方は、町で設立しました私立の体操會で有ります。デ私は前申ます通り、体操の必要と云ふ事を感じて居りますから、此大學の体操會の方に入會する積りで有りました處が少し都合が有ッて、市立の体操會の方に入會致しました、其會は一週に二回開きますのですが、一年餘りと云ふものは一回も欠席せずに出て參りまして、充分に体操を致しました、而して入

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

會しまする時に、体量幷に腕の太さなどを量ッて置きまして、一年程經てから、撿して見ました處が此一週に二回の体操に因て大に体量及び筋肉なども增加したことでござります總べて身体が體操を遣ッた後と遣らなかッた後には大へんに相違が有ッた、ソレで体操は以前日本に居ッた時に考へた通り、最も人間のからだの健康を保つに必要で有ると云ふ事を益々感じました、其後一年餘り經ちましてから、他の處に轉じましたので、一旦体操會を脫しました。ソレからは時間の都合も惡く、殊に体操場の設けのある處までは遠隔の爲め、又々体操をする機會を失しまして、今日まで續いて体操を遣ッた事は有りませぬで御座います。先づ是れが私の是れまで体操をした處の履歷で御座います。

次に体操會に入門中に感じた事の大体を申せば、此体操所に來ます人は、勿論男子ばかりであるが、一二の書生、官吏、商人商家の子供、丁稚達のやうな類いで有ります。其人等は皆其日の業を終へまして午後七時半から八時まで体操所に來て体操を遣り、八時半から家に歸りまして食事をするので有ります。斯くの如く各其日の業を終へてから、遣るので有りますから、少しも体操をした爲めに、職業の妨になる樣な事はないので御座います。此會は年齡を極めて有りませぬから、十七八の少年もあれば、五十餘の老人も有る。前には老人の組と、若い者の組と二ッに分ッて居ッたさうでありますが、熟練してから一ッになりました。私の這入ッた頃は既に組が一ッになッて居りまして、老人も壯年の者も皆混同して同じ樣な

体操を遣りました。其時間は僅か一週に二時間で有りました、何曜日で有ッたかツイ日は忘れましたが、七日の間に一時間宛二回体操をするので有りますが、一年の終に至ッて調べると、始めて入會した時と比較すれば、恰も新兵が入營して來た時の体格と二年兵になッた時の体格とに差あるが如く、一週に二時間の体操も、一年に積れば隨分に影響を及ぼします。併ながら何回目でどの位ゐの差を生ずると云ふ樣に絕對的に比較する事は六ヶ敷いけれども、三十回以上になれば明かに解る樣に思ひます。ソレで私は斯樣に、經歷中に屢々体操の必要を感じて、体操と云ふものは、是非仕なければならぬと思ひましたから、何卒日本に歸ッた上は一つの、体操の會を起して、日々業の有るものは、日中体操をする事は出來ないから、夜分なりとも或處に集會して、御互に体操をしたならば、大に利益が有るであらうと感じました。同時に一ッふと考へたことは、男子は、如何に日本人は運動が少ないとは申しながら、勞動を以て職業とする者は無論左もなき者にもせよ、他の事で運動の缺乏を補ふ場合は幾らも有るが、御婦人方は兎角運動が缺乏し易いからして甚だ飛び離れた考ではあるが、其事が實際行はるゝものなれば、男子の爲めに体操の會を起すと同時に、御婦人方の爲めにも一つサウ云ふ体操の會を設けて一週に二時間なり、或は三時間なり体操をする事にしたならば大に身体の爲めに利益が有らうと、其當時空に思ひ付いたので有ります。然るに歸朝しましてから最早半年餘りになりますが、其間に種々觀察しまするに、日本の御婦人方は西洋の婦人

に比して運動の點が殊に缺乏して居ります。而して此點に就ては恐らく何人も觀察が一致して居るで有らうと思ひます。勿論男子に於きましても、其通り西洋諸國の男子に比すれば日本の男子は、日々相當の運動を爲すと云ふ點が、缺乏して居るに相違なからうと思ひます。ソレ故男子も婦人と同じく、西洋人に比較すれば運動が缺乏して居るが、男子の運動を奬勵する方法は、問題外で有りますから申上げませぬ。併ながら運動に二途有るのではない男子と女子との運動に敢て替りは有りませぬが、兎に角私が今日御咄しするのは、主に御婦人方の運動を奬勵すると云ふ趣意で有ります。

私は前に申上げました通り、他人と一緒に体操をしたと云ふのは極めて僅かの間では有りますが併し自分のからだを強壮にしたと、云ふ念慮は一時も斷えませぬ。ソレ故始終注意をして居ッたと云ふは外の事では無い、務めて歩行をすると云ふ點で有ります。私は自分で物心を覺へまして以來今日まで、嘗つて一日も戸外に出ないと云ふことはない、譬へ雨が降ッても、風が吹いても、一日も、一回宛は必ず一時間位ゐ戸外を散歩致しました、以前本郷にも永らく住して居りましたが、自分がドンなに進まない時でも務めて戸外を散歩すると云ふ事を、殆ど毎日の科程の中に入れて置きまして、其上にも尚は暇のある時は上野山や不忍池畔を散歩しました。如何に用事が積つて居つても、必ず日に一遍上野まで參らぬ日は無い様でありました、是れが私のからだに非常に利益を與へたもので有らうと、今日まで信じ居ります

デ物と云ふものは、自分が其局に衝て精神を注いで居る事よりも、寧ろ關係の無い傍らから觀て、大きに氣の附くことも有る。殊に他國の狀況を見て居ッた眼で、我邦に歸ッてから虛心平氣に考へて見ると、別に發見したと云ふ程の說ではないが、氣の附くやうな事が有ッて……或は誰れも知ッて居ッて必要と感じないのか知らないが、私は運動の缺乏と云ふ事に就ては、始終考へが離れませぬ。凡そ男子たり女子たるを問はず、人間のからだの健康を計るには、頗る運動が必要と云ふ事を感じまして、私は熱心に運動を奬勵する處の一人で御座ります。ソレに就て最初に御咄し申して置きたいのは、私の朋友などで東京に開業して居る醫師も大勢居りますが、其人等の話を聞くに、多くは皆運動缺乏の御仲間で有りますが、私が此話をしました時に、自分は二年と何ヶ月とか一步も門外を步行いた事はないと云ふ人が有りました。尤も人の門前で降りて、玄關まで步行く位ゐの事は有ませうが、一町半町の處も……例之ば隣家に往くにも車と云ふ樣にして、其上多くの醫師は休日の設けが有りませぬからして、毎日午前は來診の病人で外に出る事は出來ず、晝から病人の家を見舞はり、家に歸ッて食事をすると最早夜になるので二年と何ヶ月の間一步も步行いた事は無いと云ふ話を聽きましたが、諸所の人に聽いて見ると是れは敢へて珍らしくもない事であります、一体日本は一日にドの位ゐ、一週間に何囘とか云ふ樣に散步をするなり、用達に步行くなりする人は至ッて稀であるので、遠い處に往くには、自分の家から人力車或は馬車に乘るのが、普通の習慣であ

るので御座います以前同窓の友で有りました人は非常に强壯で有りまして歩行なども達者で有ッたが、段々車に乘り付けたので、近頃は私共に遠く及ばず、少し歩行するとからだが、疲勞して堪へられぬと云ふ樣になッて仕舞ッた。是れは運動を少しもしないで精神を烈しく遣ッて居るから、適に運動をすると甚だしく疲勞するのでも有りませうが、一年三百六十五日車に乘り通す結果で有らうと思ひます。併ながらこれなどは其中の甚だしいもので有りませうが、ソレ程までゞなくとも斯う云ふ弊害は、近頃私共同業の中に最も多いので御座いますから、注意しなければならぬ事と思ひます。

男子に於ける運動の缺乏は、大凡そ斯くの如くで有りますが、一方の御婦人方を顧れば、運動の欠乏は、尙は一層甚だしいまだしも、男子の方は車にもせよ外に出て、彼方此方奔走する事が有りますから、從ッて新鮮の空氣を呼吸することも出來ますが、御婦人方にありましては、今日御出席になッて居らるゝ御方々は、此邊の事は既に充分の御注意が有りませうが、其外の婦人は、先づ大概一週間は愚か、一ヶ月も二ヶ月も門外に出た事はないと云ふ者が多い。ソレ等の方々から能く御話を承れば、又外出の出來ない點が幾らも有ります、其中で、何が一番差支かと云へば、何れも今日主婦たる者の務めとして改良する事の出來ない障碍ばかりで有るが、併ながら障碍は障碍として是れを取除く事が出來るなれば、成るべく排除しなければならぬと思ひますから、其事を一々申し上げ樣と存じます。

西洋の婦人は身体のみならず、足も達者で能く歩行きます、私は昨年の夏伊太利に參りまして有名の「ウエズウイヤ」の噴火山に登ッた、私共は男二人の連れで登りましたが、丁度其時後から二十七八歳の婦人が二人で登ッて參りました、處が中途で私共の傍を通り過ぎて先きに登ッて參りました。デ私共は山が漸く高くなるに從ッて、遂に人の手を借りて登りましたが、其婦人は男でさへも人の手を借りなければならぬ樣な山路を、一向平氣で、杖一本で登ッて亦其足で、直ぐに下ッて往きましたが、私共は是れを見て實に驚きました併し是れは西洋人の中でも、特別なのですが、一体西洋の婦人は、平生でも隨分活潑の運動をして居るのを看て私共は驚き入るばかりで有ります日本では何故是れが出來ぬかと云ふに、今日茲に御在遊ばす御方は、東京に御住居なさる方々故、東京に於ての障害を述べませう。

第一東京は市街が廣過ぎてソレが爲め歩行して居ッては用が足りない。例へば銀座まで往くにも、歩行いて居ッては半日も懸るから、用の有る者はドウしても歩行いては居られない。其上に自分の用の有る處が、彼方此方と散在して居るから、無據車若くは馬車に乘ると云ふやうになッて仕舞ひます。

第二に日本の衣服は歩行に適する樣に出來て居らぬ。日本の衣服は西洋服の樣に起居動作に便利の樣になッて居らないと云ふのが運動缺乏の一原因で有らうと思ひます。

第三に履物日本の履物は、西洋の靴の樣に、遠くを歩行き若くは高きに登ると云ふ樣な譯に往かぬ

からして、ソレが一ッの妨げとなつて、好んで散歩する氣にもならないのであります

第四道路、日本に於ては道路が非常に惡く、雨でも降ると、書生が高足駄を穿いて歩行くにさへ、隨分困難を感じますから、况して御婦人方が出らるゝのは一層困難で、雨など降ッては迚も歩行く事が出來ない。尤も極く僅かの部分は道路も善くなッたから出られない事は無いが、大体は極く道が惡いから雨天などの時は歩行く事は出來ないので有ります。

第五には車夫の取締が惡くッて、男子でもサウで有りますが、御婦人方が外を歩行いて居らるゝと、車夫が無理勸めを致します。一体車夫が客を勸めると云ふ事は、警察で禁ぜられてあるのですが、近頃又其禁が弛みましたと見えて、五月蠅い程勸める。若しソレを斷れば、却て侮辱すると云ふやうな事が往々有るので、ブラ／＼散歩をする者に不快を感ぜしむる一ッの障害で有ります。去りながら以上述べましたものは申さば障碍中の小なるもので有ッて、忍んで出れば幾らでも出られますから是れは日々散歩をするのに大なる差支と云ふではないが、是れから次に申す處の差支は何處の御家でも必ずとは申ませぬが、私の見る處では、ドウしても御婦人方は家に御在なさらなければ、實際家政上に不都合を來たすと云ふ事で有る。西洋の人、殊に英吉利の人などは一日に一遍外に出なければ、自分の役目を怠ッた樣に思ッて居る。英吉利人のみならず一般に西洋人は毎日でなくても、二日置き位ゐには、必ず公園を散歩するとか、市街を散歩するとか、若くは用達しに出るとか、

定まつて外を歩行きますのに、何故に日本の婦人は外に出られぬかと云へば、前に述べましたる妨げの外に、尙は何か障碍となるべき事が有るに相違ない。其障碍の主なるものは、御婦人が家に御在にならぬと、家政上に非常の妨げとなると云ふ此一事で御座います。古より今日に至るまで、男子は外に出で、務め、婦人は家に留守居をして居ると云ふやうに極ッて居るから、一時でも婦人が居らないと、一つには家の取締の附かないのみならず、用が便じないと云ふので先づ差當り用の無き者は出る事が出來ないので有らうと思ひます。是れを取除くのは、他のいろ〳〵の障碍を除くよりは、尙は一層困難で有ります。ソレは何故かと云ふに、元來日本の家屋は構造が惡い、御承知の通り西洋の家屋は、日本の家屋とは搆造が違ひまして、自分が外に出るときは房室を閉ぢて錠を鎖して置けば、自分の居らぬ間は人が其内に這入られぬから、氣を置かずに外に出られます。次に他の國では人の來訪する時間が定ッて居ります。日本でも追々サウなるだらうと思ひます、既に或一部分はサウなッて居る樣で有りますが、未だ一般に行ふ事は出來ませぬ。ソレ故西洋では、不時に人の家を訪ふ人は有りませぬ。人の來訪する時間は晝後茶を飲んで休むときとか、晝餐の後とか定ッて居ります。又始終家に居らなければ不都合と云ふ樣な用は、實際サウ毎日あるものでない。西洋では此邊の規則が大へんに能く整ッて居りますから、婦人が自由自在に外に出る事が出來るので有ります。

若し強いて諸〳〵の障碍を取り除いて、婦人が自在

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に外に出る事の出來るやうにするのは、容易なことでは有りませぬ。今私が西洋では斯く〳〵で有ると申せば、ソレは勿論理屈の有る事で、成程と御了解には成りませうが、日本に於ては、實際今日急に是の通り行ふ事は出きない。何故なれば是れを悉く改良するには、今述べました物質の改良をしなければならぬ、社會の改良をしなければならない。然らばサウ云ふ風に改革をするかと云へば、婦人と男子の關係を換へなければならぬ場合も有りませう、勿論今日御出席の會員諸君には、斯樣な事は餘り必要でも有りませぬが、會員以外の人で、此會の感化を受けて、始めて發達しやうと云ふ者には極めて必要で有りますから一言申上げます。

日本に於ては、今日の場合は、ドウしても婦人は男子に隷屬して居ッて、一言に申せば、婦人は男子の奴隷で有りますから、苟にも男子の便利を缺く事は、婦人の方にドレ程の便義が有らうとも、其事は實際行はれない樣になッて居ります。譬へば婦人が家に居ッた爲めに、男子の事業を助ける、なれば、如何程婦人の健康を害しても聊かも顧ない、男子が外出して居れば婦人は始終家に居ると云ふ樣な譯で有りますから、是れを改良するのは容易の事では有りませぬが、若しも其害が非常に大なるものとすれば、則ち一國の損害で有りますから、社會の改良の第一着手として婦人の身体の健康を計る爲めに、充分時間を拵へて散步するとか体操するとか云ふ事をしなければならぬと思ひます。時間さへあれば、其次に位みする處の障碍、家屋の構造とか時間が定まらぬとか、市街が

廣過ぎるとか、衣服が惡いとか履が惡いとか云ふ樣な事は、隨分改良の出來ない事は無いと思ひます。故に第一に必要なる事は、運動の時間を作り出す事で有ります。ソレに就ては社會の關係も少しは換へなければならぬ。而して若し出來る事ならば、追々と社會の改良をするものは今日の急務で有らうと思ひます。

デ斯く種々申上げまして、運動の事が後になりましたが、運動の利益と云ふものは御承知の通りで、今更申上げるまでもないか少し順序立ッて運動の利益を極く短く申上げれば、先づ第一身体の運動は種々有りますが規則立ッた、運動を致しますときは、非常にからだが强壯になります。ドウ云ふ工合になるかと云へば、一体人間の身体には總べて新陳代謝と云ふ事が非常に必要で有ります。新陳代謝と云ふことは、からだに新らしいものが這入ッて古いものが出て仕舞ふ、からだの一部分は去り、ソレに代るものが出來て來るのを云ふので有ります。新陳代謝して、始めて身体の健康を保つ事が出來るので有ります。運動を致すと此新陳代謝と云ふことが、盛に順序正しく行はれるので有ります。

其次に運動を致しますと、全体に關係して居る筋肉、此筋が收縮すると、筋の間に通ッて居る血管が壓迫されます。サウすると血液が先きに進みます。御承知の通り血液は心臓から出まして、手の先足の先迄循環して、古くなッた血液は又元の心臓に歸ります。其歸り道の血の管、即ち靜脈が運動の爲めに强く收縮されますと、心臓に血の戻り方が早く活潑にある。ソレが爲め新陳代謝が、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

早く促されるので有ります。長く歩行きまして足が疲勞すると、其疲勞を防ぐ爲めに、脚絆を穿いて、足の下を固く縛ると輕くなると云ふことは、實驗上昔から誰れも皆致すことで有りますが、是れも矢張り心臟に戻る靜脈の流れを大へん早く促す爲めで有ります。脚絆の爲めに血管が壓迫されて、靜脈の心臟に這入るのが早くなる。ソレと同じで運動をしますると、血液の心臟に這入る助けになります。ソレから運動をすると、手足身体の動いた部分の血液の循環の善くなるのみならず、ソレが爲め同伴運動が盛になッて、直接に收縮しない處の機關までに影響を及ぼされまして、其作用が盛になります。例之ば消化器、腸とか胃とか、或は心臟などは、直接の運動は出來ませぬが、運動の爲め消化器、其他內臟の機能が宜くなります。其外運動をしますると、皮膚の作用が强くなッて來ます。(皮膚の作用と云ふては少し可笑しいが實際生理上より云へば皮膚の作用)則ち運動をすると、冬でも發汗する事が有りますが、是れが皮膚の作用の盛になる證據で有ります。

次には軟骨、軟柔い骨などが運動する時には動いて、形狀も能く、發育も宜くなります、軟骨の營養も、運動の爲め頗る能くなッて參ります。又精神上に關係するのは、腦の機能……說明の致し方が俗談では有りますが、理解力、腦の理解力を適當に能くする事が出來る、或は腦一体に云へば、氣分に大へんに宜くなッて、物を理解する力が强くなります。是れが運動の腦に及ぼす効能で有ります。而して是等の事は常に誰れでも實驗して居る事で有ります。誰れでも外に出ると氣分が爽快

になります、是れが腦の作用を増した證據で有ります。以上が少しく順序立ッて申した處の運動の効能で有ります。

尚は其外にも運動の効能を擧げれば幾らも有りますが、大概にして置きまして、運動をした後にはドウ云ふ風になるかと云へば、運動の止んだ後、其からだを撿しますれば、疲勞した爲めに出來る處の物質が有りますが、ソレが運動をすると悉く無くなります。常にからだに疲勞した爲めに出來る物質がからだの中に止まつて居れば、害を爲すので有るが、活潑の運動をすれば、からだに用の無いものは体外に排泄せられる。又運動をして居る時は血液の運行が高まるもので有りますが、運動の後も順序立ッて高まッて居りますソレが爲め吸收される處の營養物が運動前に比すれば能く取れる樣になッて參ります。ソレから筋なども活潑の運動をすれば、其前より必要の成分が多くなります。斯くの如く身体の運動は運動の際から後までも非常に利益が有ります。其外にも運動の効用は、私が今日申す迄もなく、既に御承知だらうと思ひます。尚ほ又運動と云ふても、漠然と致して居りますが、誰れにても出來て、且つ充分なる運動と云ふは、徒手体操又は機械体操でござります。今日では女學校でも体操が一週に二三遍は科業の中に這入ッて居ります樣に覺えて居る。故に其常時に於ては遺憾は無いが、學校を出た後にも徒手体操でもなさるが宜しい、体操が宜しいと云ひましても、唯歩行きますれば、歩行くのも善い運動の種類に這入ッて居ります。併ながら歩行く時には、足の一部分は遣はれますが、からだの中

で殆ど少しも働かない部分が有る。唯ソロリ〳〵と歩行いて居ッても、呼吸の筋及び手腕などは少しも遣はれない。勿論足が動くと、全体が影響を蒙りまして、間接に利益することは充分に有りますが、直接に筋の働く事は出來ないのであります。然るに若し体操を致せば、全体の筋が代る〳〵殘りなく遣はれる様になッて居りますから、遺憾なくからだの筋を一々遣ッた譯になります。是れが体操の最も必要なる所以で有ります。

西洋の婦人は踏舞を致し、或は馬に乘り、或は「ローンテニス」を致します。併し是れも樂み、若くは遊びと云ふ點は除けて、純粹の利益と云ふ方から觀察すれば、矢張り順序立ッたる体操には遠く及はぬので御座います。殊に踏舞などを餘り致しますると、其爲めに弊害を來たす例が幾らも有ります。何故かと云ふに舞踏は、何時でも定まッた筋のみしか遣はぬので、從ッて其筋ばかり發育して、他の筋は却て瘦せると云ふ様な事が有ります、元より過度の勞働は、からだの爲めには惡いのでありますから、餘り澤山の運動をしても却てソレが弊害になるやうな事か有ります故、運動の種類を擇ばなければならぬ。併し若し出來ませぬなれば、何もしないよりは宜しいから、日々新鮮の空氣を呼吸しつゝ散歩なさるのが、からだの健全を保つに最も必要だらうと思ひます。

デ運動の効力は醫師の治療上から申せば澤山にあります。細き處まで立ち入ッて運動の効力を醫師に解る様に申せば澤山にあるか、左程に力んで運動の効力、及び必要を論じた處か之に反對するものは一人も有りませぬから、運動の効力を述べる

事は是位ゐに致して置きませう。世の中には左程強い病氣でなくても、醫師に掛る病か多くある。其場合に醫師に掛り藥を用ゐても何の効能もない時分に運動に因て愈る病氣か幾らも有ります。ソレは別段に斯うと云ふ譯ではないが、からだの柔弱なる人か、生活の狀態か變ッた場合、……婦人には其機會か幾らも有る。ソレか爲めからだの調子か變ッて、筋肉か弱くなり、神經、髓腦か多少冒されます。又權衡に懸けて量ッて見ると、貫目か減ずると云ふやうなことか有る、サウ云ふ樣な場合に能く調べて見まするど、多くは運動缺乏から起るので有ります。故にサウ云ふ時には運動をすれば、元の如く心氣も爽快に、完全なる身体に回復する事か出來ます。

其外婦人に多く有る處の腸の病氣……腸の病と云ふと少しく重い樣ですか、例令ば尾陋なから腸の膨れます病、或は粕か溜るとか或は秘結するとか云ふ樣な時には醫藥では治し難い、却て醫師か藥を上げると習慣になつて往けないと云ふことかある其時に他に方法を設けて藥用でなく身体の養生で治ほすと云ふのは外ではない、即ち運動であります、運動を以て腸の病を治すると云ふのは、我々の日々實驗する處であります。

ソレから一体貧血の御方で、からだの血行の充分でない人は、僅か一日に一時間位ゐの運動で、忽ち血色か宜くなり、食氣も進むとか云ふ樣な工合になッて、二三ケ月の間に効を見る事か出來ます是れも醫師か屢々實驗する處であります。

其次に姿勢の惡い人、日本には姿勢の惡るい方は隨分多くあると思ひます。サウ云ふ方には極めて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

体操か必要であります。からだの曲ッた傾きのある人でも、數月或は數年の体操に因て眞直になる事か出來る、殊に發育の終らぬものは一層効を奏する事か早う御座います。

次に日本では餘り多くは見受けませぬか、西洋婦人などには脂肪の多過ぎるものか幾らもありますが、斯う云ふものも運動をしなければなりませぬ。唯肥ッて居るものなれば差支は無いか脂肪か多過ぎて肥ッて居るものは危險であります、健全の時すら危險であるので御座いますから、況んや一朝病氣になると、殊に熱病などに罹ッたとき、脂肪の多い人はソレが恐るべき原因となる憂ひかあります。心臓に脂肪か溜りまして、ソレ程でも無い病氣も、ソレか爲め打勝つことか出來ぬ樣になりますから脂肪の餘計ある人は務めて運動をなさるか宜しう御座います。

（以下次號）

謹告　前號掲載之首下り病取調報告は今回は記事輻湊に付相休み次號には掲載のことと致候也

衛生叢談

◉露國軍醫の歎賞

豫て廣嶋滯在中なりし露國太平洋艦隊軍醫總監醫學博士ウラヂーミル、ポポフ氏は先に廣嶋陸軍豫備病院等を巡視して大に其事務の整頓せしとを稱賛せしが加ふるに石黒野戰衛生長官、野田野戰監督長官等の説明を聞き心服せしものと見え口を極て日本の文明を稱したりとぞ而して氏が最も歎稱せしは豫備病院に於る捕虜の取扱ひにして何

事も日本の負傷兵と異なる所なく鄭重親切に其病態を施療しつゝありしより左なきだに日本醫術の進歩に感心せし折柄なれば實際此捕虜の扱ひ方などに關しては特に感服したるものゝ如く此度の戰に對する準備は何年前より着手せられて此樣に整頓を致したるやとの問ひを發するに至らしめたり又氏は日本の文明は容易に之を口舌の間に盡すべからず今此實際を見れば歐洲各國は必らず大に恥づる所あるべし云々

●結核含有の牛乳病毒の試驗

農事試驗場に於ては現時衛生學者間の一大疑問たる結核含有の牛乳を飲用に供する時は果して病毒を感染せしめ得る哉否やを確かむる爲め豚を以て種々の試驗を行ひしが種々なる異狀結果を來したるより本月に至り該豚を撲殺し解剖試驗を行ひたるに果して舌慮の結核を撥殖し居りたり解剖上の所見は明に胃腸より其毒勢を逞ふしたるを證したるのみならず其病毒は飼養に供したる乳汁中の結核バチルスに原因せし最早疑ふべからさるに至りたるが此の件に付ては尚充分なる試驗をせらるゝ筈なり

●防寒實驗談

二十七年間上州赤城山上（面海を拔く七千七百尺の高地）に住みて製氷に從事したりといふ某の防寒實驗談を聞くに大凡左の如し

全身中最も注意せざるべからざるは第一脚、第二眼、第三睾丸、第四手指、第五咽喉、第六臍、第七耳、第八鼻なるべし之が注意法を說明すれば

●脚　指尖と蹠に最も注意すべし足袋、ツマゴ靴等何れにても二文位づゝ大なるを用ゐ際には極

めて柔かに揉みたる藁を入るゝを良とす足袋、ツマゴ、靴等は掛替を用意すべし誤つて脚部を濡らしたるときは直ちに替ふること緊要なればなり否らざれば忽ち着具と共に脚部凍結して感覺を失ひ遂に兩脚をも失ふに至るべし

●眼　眼鏡を用ゆれば寒風を遮り又色眼鏡を用ゆれば向春の候雪中光線の反射を防ぐを得べしと雖も眼鏡は往々吐氣氷結して透視を妨げ時としては破碎するの憂あり能便なる良法は眼垂と唱ふる馬尾にて織りたる篩の底に用ゆるものを帽に縫附け鼻を掩ふ位に垂らしおけば眼を掩ふべし

●睾丸　眞綿を犢鼻褌に縫附けて包みよく温めおけば全身爲めに寒氣を感することと少なし

●手指　成るべく毛皮を内部にしたる手袋を用ゆるを可とす若し得難きときは毛織モンパ製のものを用ふべし

●喉咽　毛皮或は眞綿の襟巻を用ひ臍は同じく腹卷にて包み耳鼻も十分包みおくを良とす

以上の外特に注意すべきは辨當にて成るべく肌に着け携ふること緊要なり左もなくば紙又は綿に包み脊嚢にて十分上包みをすべし又少時間の休憩には焚火等にて暖を取らざるを良とすもし火にて暖を取りたる後は身體疲勞を感じ且つ身に被りたる雪の解けて衣を濡らし未だ乾かざるに寒風に遇へは忽ち凍結凝固して手足の働きを妨げ遂に不測の危害を招くの媒ちとなるとあり寒中旅行者の勉めて注意すべき所なりと開花新聞に見えたり

◉大日本婦人衛生會々況

去一月十二日(第二土曜日)午後一時より麴町區富士見町五丁目二十二番地富士見倶樂部に於て本年

の初會を開く此日來會者百餘名講師ドクトル加藤照曆君には小兒保育に就て講演せられ次にドクトル伊澤信平君には齒の攝生法に就き演述せられ右終りて茶菓の饗應及福引等の餘興ありて一同散會せしは午後五時なりき

廣告

去一月中入會者左の如し

◉會員粟屋榮子の紹介により

赤坂田町七丁目二番地　通常會員　石田粂子

◉會員中野悅子の紹介により

新潟縣礎町通り　贊成員　淺田決君

同　通常會員　淺田夫人

新潟市營所通り　同　杉本かよ子

新潟縣蒲原郡太郎代濱村　同　南あか子

◉會員加藤ふみ子の紹介により

日本赤十字社病院　綿谷禮利子

日本赤十字社病院　松居喜登子

日本赤十字社病院　酒井錦子

◉會員田中こう子の紹介により

新潟西堀通七番町　通常會員　長谷川順子

轉居

横濱市若葉町目三丁目横濱病院へ　深和ふみ子

新潟縣北蒲原郡新發田町字上町　佐藤とめ子

芝森元町三丁目三番地　森その子

小石川水道町二十八番地澤野方　原口靜子

本鄉元町四十七番地看護婦會へ　木下角子

麹町元園町一丁目五十番地へ　松村壽子

赤坂靈南坂町三十番地へ　黑田てつ子

麹町區富士見町二丁目十八番地へ　天野群子

麹町富士見町二丁目卅七番地へ　丹治乖子

廣告

◉新年早々本會へ賀詞を贈られたる會員諸氏は左の如し

謹賀新年
明治廿八年一月一日
東京本郷弓町二丁目廿二番地
飯盛挺造
大日本婦人衛生會御中

新年の御壽幾久敷申納候
併せて會員の盛大を祈る
明治廿八年一月元旦
日本赤十字社病院
千種八百子
大日本婦人衛生會御中

新玉の年の初めの御壽愛度申納候
明治廿八年一月元旦
京橋木挽町九丁目
岡田ひて子
大日本婦人衛生會御中

謹賀新正
明治廿八年一月元旦
山梨縣東八代郡石和仲町
鹿兒島喜久子
大日本婦人衛生會御中

新年の御壽目出度祝納候
併本會の盛大を奉祈候
明治廿八年一月元旦
新潟市上旭町通壹番町四十六番戸
中野悦子
大日本婦人衛生會御中

恭賀新正
明治廿八年一月一日
千葉縣長狹郡吉尾村北風原
永井益夫
永井くに
大日本婦人衛生會御中

恭賀新年
明治廿八年一月一日
京都寺町通廣小路
村岡ひつの
幹事御方様

恭賀新年
明治廿八年一月一日
筑前鞍手郡勝野炭坑
安達芳子
大日本婦人衛生會御中

謹賀新正
明治二十八年正月元旦
芝西久保葺手町十七番地
佐伯近子
大日本婦人衛生會御中

恭賀新年
併せて貴會の隆盛を祈る
明治二十八年一月一日
秋田縣大巻銀山
長岐きよ
平川りゑ
大日本婦人衛生會御中

恭賀新年
併せて貴會の萬福を祈る
明治二十八年一月二日
芝森元町三丁目三番地
森その子
大日本婦人衛生會御中

恭しく新年を賀す
明治二十八年一月三日
四谷鮫ヶ橋町五十八番地
松平充子
大日本婦人衛生會御中

恭賀新正
明治二十八年一月八日
京橋區南金六町十六番地
ドクトル伊澤信平
大日本婦人衛生會御中

恭賀新年
明治二十八年一月十日
日本赤十字社病院
加藤ふみ
大日本婦人衛生會御中

新年の御壽目出度申納候
明治二十八年一月十日
南金六町十四番地
高崎妙子
大日本婦人衛生會御中

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

私立大日本婦人衛生會規則

第一條　凡本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を増進するにあり

第二條　本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置く

第三條　本會の會員たらんと欲する者は身分の尊卑を問はず何人にても入會することを得

第四條　會員たらんと欲する者は族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込ある可し

但事務所は下谷區練塀町四十三番地に置く

第五條　本會々員を分て終身會員特別會員通常會員の三類とし共に會費金を納むる者とす

但終身會員は一時に金拾圓以上を納め特別會員は一年金二圓四拾錢以上を納め通常會員は同金壹圓二拾錢を納むる者とす尤も會員中書生及其他事故ある者は唯雜誌料として同六拾錢を納めしむ

第六條　男子にして本會の主義を贊成する者は之を贊成員とす尤も會費は本會員に同し

但本會に功勞ある者は役員の協議を以て終身贊成會員(無會費)とすることある可し

第七條　本會に推戴員を置き其中より總裁一名を奉す推戴員は皇族の御息所等に之を申請するものとす

第八條　本會は左の役員を置く

會長一名　副會長一名　幹事七名　評議員二十名　書記若干名

第九條　會長副會長及幹事評議員は會員の投票を以て之を撰擧し書記は幹事の推撰により會長之を命ず

但書記は都合により會員外の婦人又は男子に托することあるべし

第十條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し又は其代理をなし幹事は會長の命を受けて會務を處理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命に從て諸記錄及雜務を掌る

但幹事の分課を設けて第一　會計　第二　編輯出版　第三　庶務とす

第十一條　會長の見込を以て右役員外に會員中より臨時に指名委員を置くことあるべし

第十二條　會長副會長及幹事評議員の任期は一年とす尤も再撰するも妨げなし

第十三條　會長副會長及幹事評議員は無給料とし書記は相當の報酬を給す

第十四條　本會の集會は七月八月を除くの外毎月一回として通常第一土曜日午後一時より之を開く

第十五條　毎會學識經驗ある者を聘し講義演說を囑し本會々員の演說と共に之を筆記して本會雜誌に揭載し毎月各一冊つゝ無代價にて之を會員に頒付するものとす

但し演說の間に談話を交ゆる事あるべし

第十六條　會員は家族の婦女子又は知己の婦人を本會々場に誘致して傍聽せしむることを得

第十七條　講義演說の際男子の傍聽を禁ず

但會員に緣故ある男子は此限にあらず

第十八條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす

但些少の金額は日々の費用支出の爲め事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十一年二月二十八日内務省許可

務所に引出置を得

第十九條　會計の收支は總て會計課幹事の撿印を要す

第二十條　會員又は會員外より金圓若くは書籍物品等を寄贈あるときは本會より謝狀を送り且寄贈の品目及其人の姓名を本會雜誌に載せ報告するものとす

第廿一條　會費は郵便小爲替にて東京下谷郵便局へ向け振出しある可し

但不得止場合には郵便劵を代用するも妨けなし尤も一割增とす

第廿二條　入會員には會員證を附與すべきに付郵便にて申込の者は郵便劵二錢を添ふ可し

第廿三條　毎年三月九月の總會に於て會計の收支庶務の概略幷に會員の增減等を報告す可し且規則改正の案あれば之を議定するものとす尤も議定は總て多數決とし可否半數なるときは會長之を決す

但至急規則の改正を要する事あるときは豫め會員に報して臨時に之を爲すとを得

第廿四條　毎年三月の總會に於て役員の撰擧をなすものとす

第廿五條　規則の範圍内に於て役員の評議を以て其細則を設くることを得

第廿六條　各地方にて發起者十人以上ある者は支會を設くることを得

但其規則は本會の規則に抵觸せざる樣起草し本會役員の認可を經へし

第廿七條　本會の集會塲は時々報知する者とす

第廿八條　會費金は受領證を付與すべし尤も小爲替又は郵便劵にて納むる者は右受領證遞送費として郵劵二錢を添ふべし然らざれば受領證は送付せざるものとす

第廿九條　入會後轉居する者は速に事務所に通知ある可し尤も死去の節は親戚知友等より通知ある可し

第三十條　退會せんとする者は會員證を添へて其旨事務所へ報知あるべし

明治二十五年九月

東京下谷區練塀町四十三番地

私立　大日本婦人衛生會

明治廿八年一月三十日印刷
明治廿八年二月一日發行

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地　大日本私立婦人衛生會
編輯兼發行者　東京牛込區矢來町三番地　田中徳三郎
印刷者　同　神田區小柳町十三番地　小高良造
印刷所　同　神田旅籠町貳丁目拾一番地　廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可　第一金曜日發行　（定價金拾錢）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN